

令和3年度第3回日進市地域公共交通会議 議事録

日時 令和3年10月15日（金） 午前9時45分から午前11時30分まで

場所 日進市役所4階 第2・3会議室（オンライン及び対面会議を併用して開催）

出席者 【オンラインによる出席】
小林裕之（委員）、加藤永一（代理）、中嶋久（委員）、吉田篤史（委員） 鈴木直宏（委員）
【会議室にて出席】
松本幸正（会長）、吉井竜良（委員）、伊東美佐紀（委員）、多田直紀（委員）、大野淳（委員）、山内三奈（代理：鈴木隆史）、坂井敏也（代理：五條純）、島村紀代美（委員）、神野健三（委員）、菅美佐子（委員）、木俣恵子（委員）、寺田裕美（委員）、染川和也（委員）、水野隆史（委員）

欠席者 澤木徹（委員）、増岡裕仁（委員）

事務局 生活安全部 防災交通課 鬼頭課長
防災交通課移動政策室 三好室長、井筒係長、水谷主査、渥美主事
健康福祉部 地域福祉課 野村係長（オブザーバー）
都市整備部 土木管理課 福島課長（オブザーバー）

傍聴の可否 可（オンライン）

傍聴の有無 あり（4名）

発言者	内容（要旨）
事務局	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。</p> <p>開会に先立ちまして、本日ご出席の皆様におかれましては、過日委員についてご承諾若しくは各団体の代表者様からご推薦をいただきました結果、令和3年10月2日から令和5年10月1日までの任期で委嘱させていただくこととなりました。2年の任期となりますが、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまより、令和3年度第3回地域公共交通会議を開催します。</p> <p>はじめに委嘱式を行います。</p> <p>（日進市地域公共交通会議委員委嘱式）</p> <p>続きまして、日進市長 近藤裕貴からご挨拶申し上げます。</p> <p>（市長挨拶）</p> <p>本日は新しい任期での初めての会議となりますので、議事を進行していただく会長が決まっておりません。つきましては、会長の選任までの議事を副市長が進行させていただきます。</p>
副市長	<p>それでは進行役を務めさせていただきます。まず、会長・副会長の選任について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>会長・副会長の選任については、日進市附属機関の設置に関する条例施行規則第3条に規定がございます。</p> <p>会長は会議を代表し、会務を総括していただきます。また、副会長は会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理していただきます。</p> <p>規則第3条第2項により、会長は、委員の互選によってこれを定めること、ま</p>

	た、副会長は、委員のうちから会長が指名することとなっています。
副市長	どなたか会長へのご推薦はございませんか。
委員	これまで本会議に多大なるご尽力を賜り、前の任期中に会長をお勤めいただいた、名城大学理工学部教授の松本委員に引き続きお願い致したいと思いますが、いかがでしょうか。
副市長	ただ今、松本委員のご推薦がありました。委員の皆様、ご異議はございませんか。
委員	異議なし
副市長	異議もないようですので、会長は松本委員にお願いすることといたします。それでは、続いて副会長の指名についてお諮りします。
会長	前回の任期から引き続き、副会長には前任の青山様に引き続き、水野副市長にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし
副市長	ただいま会長よりご指名がありましたので、副会長の役をお引き受けさせていただきます。皆様よろしくお願いいいたします。それでは、会長・副会長が決定しましたので、以上をもちまして議事進行の任を解かせていただきます。
事務局	<p>それでは、改めまして松本会長、水野副会長からご挨拶をお願いいたします。 (会長・副会長挨拶)</p> <p>それでは会議へ移りたいと思います。</p> <p>本日の定数を確認いたします。本日の出席者は、委員21人中19人、欠席者2人であり、日進市附属機関の設置に関する条例施行規則第4条第2項に規定する、会議の開催に必要な2分の1以上の出席を頂いていることをご報告します。</p> <p>続きまして、会議の公開についてご説明します。日進市市民参加及び市民自治活動条例第12条の規定により、原則公開とされておりますが、同条例、施行規則の第15条に会議の内容によっては、非公開とすることもでき、会議の公開、非公開の決定は、会長が各委員にお諮りし行うこととしております。</p> <p>なお、今回の会議は、現地及びZOOM参加の組み合わせにより開催していますが、感染症対策の観点から傍聴者につきましてはZOOMでの閲覧のみとさせていただきます。それでは会長、お願いいいたします。</p>
会長	今回の議題は、特に個人情報ですとか、個人の利害に関わる内容は含まれておりませんので公開とさせていただきますと存じますが、よろしいでしょうか。
委員	異議なし
会長	公開とさせていただきます。
事務局	今回、初めて参加される委員もいらっしゃいますので、本会議につきまして、少しご説明申し上げます。本会議は道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づき、市内の住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議いただくものです。今回新たに委員になられた方には事前に資料と一緒に「地域公共交通について 活発でよい議論ができる会議のために」というリーフレットをお送りさせていただいております。こちらをご参考にしていただきながら、不明なこと

	<p>等がございましたら事務局へお尋ねいただきますようお願いいたします。</p> <p>議事進行につきましては、日進市附属機関の設置に関する条例施行規則の第4条で会長が行う旨規定されておりますので、松本会長よろしくようお願いいたします。</p>
会 長	<p>それでは、議事に入ります。まず初めに、令和3年度上半期の運行状況について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>(資料に基づき【報告事項】令和3年度上半期の運行状況について説明)</p>
会 長	<p>ただ今の報告に対しまして、ご質問ご意見等ございましたらいただきたいと思いません。いかがでしょうか。</p> <p>ご存じのとおり、コロナの影響でこのような状況になっております。4月、5月に関しては、昨年に比べれば良くなっていましたが、緊急事態宣言等の発生に伴って、また利用が減ってしまいました。</p> <p>以前にもお話ししておりますが、利用が多い少ないというのはもちろん重要な事なのですが、我々として気につけないといけないのは、出かけることを抑制してしまっ、体を弱めてしまうような方々が出てくることです。ここを一番心配しないといけないと思っております。そのためにも安全だという情報とともに公共交通を提供して、心身共に健康を維持していただく。これが何よりも大事だと思っております。新型コロナウイルス感染者も落ち着いてきましたので、必要に応じて、安心して乗って頂けるよう市民の方々へ情報提供していただけると良いと思っております。</p> <p>次の議題に移ります。議題(1)日進市地域公共交通計画の策定について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>(資料に基づき【議題】(1)日進市地域公共交通計画の策定について説明、委員より第2回日進市地域公共交通会議専門部会の議論の内容を報告)</p>
会 長	<p>日進市の公共交通全体の課題を抽出するというところで、この課題がふさわしいのかどうか意見交換させていただければと思っております。それぞれの立場で自分たちが抱えている課題が含まれてるかどうか、足りないところはないか、認識が間違ってることはないか等、ご意見を賜ればと思っております。ご質問も含めて、ご意見等いただければと思います。</p>
委 員	<p>課題について、この資料が非常によくまとめられておまして、この問題点として出てるもののうち、半分でも実現すれば素晴らしいものになるなと思いません。</p> <p>次期のくるりんばすを中心とする交通体系の計画策定まで時間がないので、急いでやらなければ、検討したが間に合わなかったというようなことになりかねないと思いません。</p> <p>資料の見方として、いただいた資料の日進市地域公共交通計画の策定スケジュールの真ん中に地域別ワークショップの開催とあり、8月に実施されて、また11月に予定されてますが、短期間に2回あるワークショップはどのように使い分けて行う予定なのか教えて欲しいです。</p>
会 長	<p>ではワークショップの紹介も含めて事務局お願いいたします。</p>
事 務 局	<p>1回目のワークショップにつきましては、今の皆さんの移動の状況と、そこからどのような困り事がある、どのように解決したらいいかというアイデアをお聞きする場として開催をさせていただきました。ワークショップのまとめについて</p>

	<p>は、資料の64ページに記載しております。</p> <p>地域といっても、各区や自治会単位まで細分化するのはなかなか難しいので、福祉会館の区分で実施いたしました。次回の11月の日程につきましても、前回に引き続き10月号広報で記事を掲載し、参加者の募集をしております。</p> <p>次回のワークショップは本日議論いただく課題をベースに、基本方針の前身くらいの位置づけの解決の方向性を事務局からお示しして、利用者を始めとする市民の皆さんの目線で、こうなるといい、自分たちはこうしていきたいという行動変容に繋がるようなお話ができるワークショップにしたいと思っています。</p>
委員	<p>下手をすれば、前と同じようなワークショップをまたやって、同じ意見が出るなんてことになるのかなとも思います。先ほど、前回の専門部会でも地域の詳しい実情や要望をもう少し詳しく分析する必要があるという話があったと伺いましたので、ワークショップを2回やることによって、詳細な分析に繋がればいいなと思います。</p>
事務局	<p>補足です。地域分析についてもご意見いただいていますので、ワークショップにおいては、お越しいただいた皆さんのお住まいの地区をお聞きします。どの地区にお住まいの方がどの意見を言ったという紐付けをして開催するよう準備しておりますので、地域分析に繋がるようなワークショップにしたいと思っています。</p>
会長	<p>今度のワークショップでは、整理された地域ごとの課題も説明いただけるということによろしいですね。</p>
事務局	<p>どれくらい色が出るか結果次第のところもありますが、説明できるよう準備しているところです。</p>
会長	<p>地域に根差した意見をさらに出していただければと思います。</p>
委員	<p>資料からは今後やっていかなければならないということが見難いなと思いました。今後のメインになるのであろう拠点づくりについて、道の駅の話も聞いていますが、日進市の街づくりの中でどうやっていくのかを併せて出していただけると良かったと思いました。今後方針を具体的に決める回があると思いますので、その時でも間に合うのかなと思います。</p> <p>また、公共交通の現状としましては、全体として運輸業は人材が足りず、運転士不足です。バスでもタクシーでも減ってきています。今事業をお願いしてもやってもらえないということが実際に出てきているので、いかに地域にある営業所だとか車だとか人だとかを維持していくかを地域ごとで考えていただく必要があるのではないかなと思います。</p> <p>公共交通の現状の中で加えた方がいいのか、まずは事業者に聞いた方がいいのではないかと思うのは自動車の問題です。現状の費用の中で、今のネットワークを維持するという話がありました。例えば今、燃料代はすごく高いです。バスの燃費はおおよそリッター4～5キロです。日進中央線で片道11キロぐらいのところを365日毎日15便ぐらい走ると、1年で12万キロという計算になるのですが、リッター4～5キロのバスがそれだけ走り続けると、今の燃料の高騰が大打撃になる。それはすごく大きな話だと思います。あと車両は経年劣化します。使えば使うほど傷んでくるので、どこかで車両の交換が発生します。国土交通省の立場からすると、安全性の高い先進自動車の導入を推進していることもありますし、昨今ですとCO2の削減などもあ</p>

	<p>りますので、車そのものの価格が上がっているということもあります。その辺りも念頭に置きながら、予算の話をするのであれば、少し現状について調べた方がいいのかなと思います。</p>
事務局	<p>車の状況ということで、燃料の問題であるとか、耐用年数の話だとかお話しいただいたところは視点として持っておくべきではないかと思いました。現行の予算で維持ということは、結果として縮小につながってしまう可能性もあるということかと受け止めましたので、表現についても検討したいと思います。また、事業者の皆さまの状況もお聞かせいただければと思います。</p>
会長	<p>運転士不足はおっしゃる通りです。日進市の地域公共交通計画としてどのような記載ができるのか、ご検討いただきたいと思います。市として協力できるようなことがあれば、記載いただきたいと思っております。</p> <p>それから将来の姿は大変重要だと思っております。日進市の上位関連計画と言葉で書かれておりますが、これが明確ではない。将来こんな市になる、どこにどういった施設ができる、どこにどのような施設を集めようとしているのかというのを市として明確にする。あるいは、区画整理も色々始まっております。どこにどれぐらいの人達が張り付くかといった姿も見せていただくと、それに対してどういう公共交通が必要なんだろうかということに繋がっていくかと思っておりますので、整理をお願いしたいと思います。</p> <p>基本的に地域公共交通計画というのは、中長期というよりは短期の計画です。目下5年ぐらいの計画ですので、先を見据えながらの5年ということが大事だと思っております。さらに市の発展を考えた場合には、非常に難しいのですが、先行的な投資のようなこともあっていいと思っております。卵と鶏ではないですが、交通網ができたから人が張り付いてくる。人が張り付いてきたから、交通網を整備する。どちらが先かというのは時代とともに違ってきますが、そういう意味で両方うまく見据えながらネットワークを作っていくというのは重要ではないかなと思っております。次回以降、整理をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>今までの議論を見ていると、何が課題なのかという議論になっていますが、二つテーマがあるのではないかと思います。</p> <p>日進市は非常に順調に発展してきて、常に住みやすい街だと言われてきました。しかし、交通サービスについては限界にきていまして、日進市自体は良いが交通の便が悪いと言われます。特に通勤通学だとか、他の街へ行って活動する市民にとっては、交通の便が悪い。現状を見ていると、地下鉄赤池駅、名鉄豊田線、リニモへの接続が良いところは便利さを享受できて快適ですが、それ以外の所に住んでいる人にとっては、街へ行くのに物凄く不便です。</p> <p>私の個人的な希望としては、日進市は名古屋市に隣接した非常に恵まれた地域です。今は名古屋に限定されている大都市交通圏のメリットを享受したい。例えば、名東区の梅森坂の辺りまでは、物凄く便利に市バスが来ていますが、そこから歩いて10分、15分程の梅森地区、香久山地区は交通の便が悪いので、名古屋の市バス路線の終点まで歩いて行って、名古屋の市バスを使って通勤通学をしている人もかなりいるようです。名古屋市の市バスサービス、鉄道サービスも赤池までは名古屋市営地下</p>

	<p>鉄が利用できますが、日進駅、米野木駅まで足伸ばすと料金が高くなってしまいます。交通手段はあるが高くなってしまいますので、赤池駅までマイカーで送り迎えしてもらい利用しているという話も聞きます。名古屋市の大都市圏の交通の便を名古屋鉄道などの協力も得ながら、名古屋市を境界に線引きされている交通サービスの遮断を解消するようにしていただけるといいなと思います。</p> <p>もしそういったことができれば、鉄道主要駅とのアクセスが大事になっていきます。市内の巡回バスを便利にするのは費用の点で簡単ではない。幹線の市内バスと地域の人たちが利用するバスの2つの面で、課題解決してかないといけないのかなと思います。資料の最後に日進市内の5、6箇所でボランティアの移動支援をしているとの記載があります。こういった動きを必要なところに検討し、行政の支援もしていただきたい。</p>
会 長	<p>大変重要な論点をご提示いただいたと思っております。基本的には将来の日進市の発展に向けた基幹的な構造をしっかり作っていく。そして隣接市町との連携を深める。さすがに名古屋市交通局の市バスをどんどん入れてほしいということは、こちらから言えることではないと思いますし、名古屋市交通局も大変な中で、さらに日進市まで路線延伸というのは現実的ではないと思います。しかし、何らかの連携を図っていくというのは重要だと思っています。名鉄バスが幹線として運行していますので、その名鉄バスのより一層の充実は有り得るのかもしれませんが。</p> <p>一方で、地域の方々は、お年を召した方が日進市であっても増えていく。そうなれば市内移動の需要も増えていく。みんながみんな名古屋市に行くわけではなく、みんなが鉄道を利用するわけではない。広く浅い移動にはなりますが、その移動についても当然考えていかなければならない。それは今までの定時定路線のバスなどではない、新たな移動手段として考えていかなければならないということをご提示いただいたと思います。地域公共交通計画では非常に重要な論点になるかと思っています。</p>
委 員	<p>事務局にお伺いします。大きな課題がある中で、見直しをどういう方向で考えるのかです。それは大幅な見直しなのか、バス停位置の変更やダイヤ改正など小幅な見直しに留めるのか。どのように検討されているのかお伺いしたい。</p> <p>課題の中でも、新しい輸送サービスやタクシーの活用、タクシー事業者との連携とタクシーというキーワードが随所に出ています。タクシーにつきましては、公共交通という分野と、もう一つの福祉の分野の双方に密接な関わりがある。この役割分担の整理を明確にしていきたい。また、地域公共交通会議にもオブザーバーとしてではなく、福祉の担当者は出席するべきではないでしょうか。</p> <p>タクシーは民間企業です。需要の大きい地域で仕事をします。コロナで仕事が少ない中、どんどん名古屋の中心部で仕事をします。そうすると、この地域にタクシーがいなくなるのです。これは名古屋市内でも周辺部は同じことが言えます。配車しても来てくれないというのは、そういうところに原因があります。</p> <p>その中でタクシー事業確保維持と言っても、何もできないのではないかと思います。例えば、日進市の地域公共交通会議にタクシー事業者を参加させて関係を密にするだとか、タクシー事業者との懇談の場を作るだとか。オフィシャルなものとして地域公共交通会議の中に位置づけるのか、計画の中に位置づけるのか色んな手法がある</p>

	<p>と思いますが、そういったことをしなければならぬ。もし可能ならば、タクシー業者に協力を求めるように働きかけをさせていただきたいと思っています。</p> <p>東郷町では、空いているタクシーをうまく使えないかという実証実験をこれからやろうとしています。地域のタクシー事業者との話し合いとを一生懸命やってる地域もごさいます。日進市において、名鉄バスやくるりんばすだけで公共交通を担うのは、限界にきていると思います。しかし、いざという時にタクシーに何かやってくださいと言われても、できないというのが実態だと思います。この地域にどうやってタクシーを根付かせていくのか。行政の方々に考えていただきたい。</p> <p>愛知県でも交通ビジョンとして県の考え方を自治体へ示していこうとしています。こういうものの中でも、福祉との連携を十分に謳っていこうと検討が進められております。是非そういった視点でご検討いただきたいと思っています。</p>
会 長	<p>質問もございました。事務局から補足をお願いします。</p> <p>市として、この再編の方向性をどう考えているのか。前回お示しいただいておりますが、改めてご回答お願いいたします。</p> <p>また、福祉との連携は大変重要な視点で、国の計画でも求められています。福祉担当の方はオブザーバーとして留まっていますが、その辺りの考えもお願いします。</p>
事 務 局	<p>再編に向けての考え方について、市としましては幹線交通の確保が重要かと考えています。日進市内は過去には複数の名鉄バス路線を撤退するなど、交通網としては少し寂しい状況にあります。隣接の名古屋市と比べまして、交通網を考えますと、大変不便だという印象があることも承知しております。よって、まずは幹線交通をどうにか確保していくことが最重要だと考えています。路線バスに限らず、鉄道についても利用促進が課題だと捉えています。</p> <p>路線図を見ていただくとわかるように、本市は縦と横の軸がありません。ない軸を補う形でくるりんばすを運行するという網の張り方をしていますので、東西南北の軸をしっかりと幹線で結んで、その上にくるりんばすであるとか、他の交通手段を乗せていくのが良いのではないかと。そのように市としては課題の1つとして思っております。こういった方向性についてご意見をいただきまして、市民の方に使って頂けるようなコースを目指していきたいと考えております。</p> <p>その上でタクシー事業者との連携ですが、市内にはタクシー事業者はあまりいない状況です。連携は必要だと思っております。今年度、いくつかの事業者とお話しさせていただいております。引き続き関係性をしっかりと築いて、タクシーに関わる事業を始める際には、連携していけるような行政でありたいと思っています。</p> <p>福祉との関係につきましては、福祉事業者さんもしくは地域で取り組まれている移動支援では、交通という目で見ると、交通事業者が行う交通網とは違いますので、同じレベル、同じ目線で見るとは難しいと思っております。まずは先ほど申し上げたとおり、幹線の交通をしっかりと作る。そしてコミュニティバス、タクシー事業者さんとの連携等といった交通網をどうやって作るかを再編に向けての課題として検討していきたいと思っています。</p>
委 員	<p>皆さんで考えていただきたいということです。私は回答がなかったと受け止めました。皆さんがどういった形で受け止められたかだと思います。</p>

<p>会 長</p>	<p>市の方針の見解では、まずは骨格をしっかりしたい。その次にくるりんばすやタクシー、他のサービスということです。質問にありました今回の公共交通再編に対して、くるりんばすをどのように見直すのかということは、小手先ではないんじゃないかなというような感覚を私は持ちました。もちろんそれは皆さんと議論の上で、どうしていくか決めるということではあります。前回の会議では、今までのくるりんばすのような回り方をするのか、幹線+その他にするのか、その折衷案のようにするのかといった話が出ていました。事務局より幹線をしっかり作っていくという意味表明がされたのだと思います。</p> <p>福祉との連携は大変重要なテーマで、市としても進めていきたいということですが、どういう形で進めるかは非常に難しいと思っています。福祉有償運送という話がありました。福祉有償運送を公共交通で担えるかといえば、担えないですね。対象者が絞られています。そもそも自分たちで車両に乗れないということがあります。そこは明らかに福祉なのです。ところが、福祉的なサービスというのがあります。例えば、温浴施設まで送迎するようなサービスは公共交通として扱えるかもしれない。そういったところの連携、あるいは役割分担をこれから進めていかなければならないと思っております。福祉部門と交通部門でそれぞれ何をどういう形で提供していて、どこをどういう形で手を結べるのか、あるいは明確な役割分担の整理していただく必要があるのではないかと思えます。</p> <p>それから、災害時に最後に頼りになるのはタクシーですね。東京も鉄道が止まって、タクシー待ちの行列が大発生したということもありました。近年愛知県でも、台風のため電車が計画運休してしまって、タクシー待ちの行列がすごかったということもありました。ところが、地区からタクシーがいなくなってしまうたら、何ともなくなってしまうですね。そういったこともありますので、平常時だけではなく、災害時のタクシーの活用というのも含めれば、タクシーが地域にあるというのは、それだけで価値があることかなと思っております。その価値を持続するための方策というのを考えていかなければならないと思っております。</p> <p>一方で、タクシーに乗って嫌な思いをすることもありますね。そういったこともなくなる。タクシーも良くなり、そして我々も利用しやすくなる。そういった仕組みができていくと良いなと思えます。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料についての確認をお願いしたいと思います。専門部会で提出頂きました資料と比べると本日の資料は、かなり書き直しをしてくださったと思います。特に日進市の現状についての書きぶりが、かなり良くなりました。一方で日進市における地域公共交通の集約課題というところがすごく重要で、ここが端的にしっかりと見えてるかどうかで次の基本方針がしっかり決まってくると思えます。そういう意味では、まだ書きぶりが甘いのではないかと思います。</p> <p>また例えば、62ページに(2)評価指標②：公共交通の利用者数という項目があります。「くるりんばす(全路線)」+「名鉄バス(日進中央線)」の地域交流交通のみ評価結果は未達成となっていますね。にもかかわらず、1ページ目の課題についての記載では⑧公共交通の不満割合(市民アンケート)は、目標値(幹線バス35%以下、地域交流交通40%以下)に対して、実績値(幹線バス40.6%、地</p>

	<p>域交流交通53.3%)ではともに目標を下回る結果でしたという記載もあるものの、㉗公共交通の利用者数は、目標値18,098千人以上に対して、実績値20,293千人では目標を達成していますので、利用者維持に資するサービス水準を確保する必要がありますという記載がされています。利用者数が未達成となっているところもあるということをしかり課題として捉える必要があると思います。加えて、利用者数の数値が前回の専門部会の資料と違うことも説明いただきたいと思います。</p> <p>集約課題の1番上に、①前計画から一定期間が経過したことから、現状及び将来を見据えた日進市における公共交通が果たすべき役割・機能に応じたネットワーク形成やサービス確保の新たな姿を描く必要があると書いてありますが、一定期間を経過して街が変わったからということではなく、利用者数が50万人から40万人に大きく下がった要因として、地域交流交通のルート及び運賃等の影響があったということをしかりと集約課題に入れなければならないと思います。</p> <p>また、福祉と交通の連携についてですが、対象は誰で、どこを対象にどういう移動支援をするのかをしかり見なければなりません。例えば、ボランティアでやっている移動支援に一定のニーズがあって、定期運行できるのであれば、タクシー事業者と連携して、定期運行で小型のタクシーで回っていただき、そこに地域と市から補助金を入れるというやり方もあるのではないかと考えています。ボランティアでは人頼みのところがあるので、福祉的な視点から継続していける仕組みを作っていかなければならない。そういった視点は、エリア分析から生まれると思います。</p> <p>基本方針は地域性をしかり見据えた上で立てなければならない。課題には、福祉との役割分担が不足していることなどもしかりここに書き込み、それに対応する基本方針を盛り込んでいくことが必要ではないかと思っています。</p> <p>最後に1点お願いします。次回の専門部会が11月24日とお聞きしました。その前にワークショップがあるのですが、まだ専門部会で基本方針が話し合われてない中で、このワークショップはどのようにしてやるのか、何を目標に行うのか疑問なのでお答えをお願い致します。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。主に3点ございました。目標値の説明、福祉との連携、そしてワークショップということをお願いします。</p>
事 務 局	<p>旧計画目標の達成度評価についてですが、目標値には公共交通の利用者数しか設定をしていませんでした。ただ分析する都合で、内訳を出さないと意味がないので、資料として出してはいます。ただ評価としては、全体目標として立てた目標に対する成果はどうかだったかという評価をさせて頂いています。</p> <p>前回資料と利用者数が違う点については、前回資料は地域交流交通ではなく、くるりんばすと表記してありました。単純にくるりんばすの数値のみで、旧中央線の数値は除いてありました。今回はくるりんばすと旧中央線、くるりんばすと日進中央線の数値を足したものが載っています。そこが違いです。</p> <p>福祉との連携ですが、例えば今まではバス停まで歩いて行けていたが、それが歳とともにどんどんできなくなってくるということが一番の問題だという認識でいます。</p>

	<p>民業圧迫にならず、それでいて利用者にとって利便性が良いというところを探すというのが、バスに代わる新たな交通手段を取り入れる最大の意味だと思います。そういったことを皆さんからご意見を頂きながら、これから考えていきたいと思っておりますし、専門部会の際には、そのために実証実験を行いたいという話をさせていただいたところです。</p> <p>ワークショップについてです。前回のワークショップの反省点として、たしかに色々な意見はいただくことができましたが、どの意見がどの地区にお住まいの方どのバス停を利用する、どんな人の意見か追いついていませんでした。また地区別ワークショップとして開催したものの、違う地区の方でも参加いただけるように開催したので、この結果を持って分析をすると答えを誤ることになりかねないと思っています。先ほども申し上げましたが、参加者にきちんと属性を表示していただき開催するよう準備しています。その点で前回と差をつけるとともに、前回は課題の整理ができていなかったのも、どの課題に対して答えをいただくか明確ではありませんでした。課題解決に対するアイデアを役割分担の整理をしながら、お話しいただければと思っています。</p>
会 長	<p>地域ごとの課題を明確にした上でのワークショップを行っていただき、それから方針は定まっておりますが、地域の声を聞きながら方針を定めていくということになっていくのだと思います。</p> <p>お話にありましたタクシーの地域での活用という例は良いですね。地域でもお金を出して、そして行政からも支援をして頂いて、ボランティアドライバーさんですと事故の問題等々もありますし、ドライバーの方々のなり手という問題もあります。そこをタクシーの方々にご協力いただくということで、両方が連携していくことは一つの方策なんだろうと思います。そういった新しいものをこの計画の中で位置づけるよう模索できたらいいと思います。</p>
委 員	<p>私は長久手に住んでいます。ワークショップの話が出ましたが、N-バスについてのワークショップがあり、そこでは色々な方の個々の想いがわっと出ていたのですが、結局新しい時刻表を見ると活かされていない。個々の意見を全部取り入れることは難しいでしょうが、聞いた意見が何も反映されていないのは疑問でした。なので、広報誌とかで、途中経過として、こういった意見が出ていて、こういった課題がありますと市民に伝わるような媒体があった方がいいのではないかなと思います。</p> <p>また、タクシーの関係で、長久手では試験的にNタクシーというワンコインで利用できる高齢者用のタクシーがありました。でも試験的なもので、それはそれとして終わってしまったのですが、日進でもそのようなものを並行して検討してもいいのではないかなと思います。</p>
会 長	<p>ワークショップの結果を市民の皆さんにしっかりお知らせする。とても大事ですね。事務局いかがですか。</p>
事 務 局	<p>本日の会議資料もその一環として、ワークショップのまとめをつけています。もう少しわかりやすい形で、ホームページ等の掲載を工夫してみたいと思います。</p>
会 長	<p>是非お願いします。ホームページの掲載もですが、広報誌で募集していますので、広報で結果を載せられませんか。</p>

事務局	まとめという形での結果の報告を、パブリックコメント実施の際などにご紹介できればと思います。
会長	同じようなワークショップをやっている、そして何も反映されないとよく言われます。諦め感も漂っているのではないのでしょうか。諦め感をなくすためには、ワークショップで集まった意見がどういう形で反映されていくかを見える化するのとはすごく大事ですね。実はそれが市民協働の第一歩かもしれません。 タクシーの実証実験についてはどうでしょうか。
事務局	予算要求の段階なので、お約束できるものではありませんが、先ほど申し上げた通り、少量輸送の在り方について実証実験を行いたいと考えています。 近隣市で行われた先行事例を勉強させて頂いて、より効果の高い手法を検討したいと思っております。
会長	長久手市や東郷町、豊明市でも行われておりますので、良い面悪い面を勉強していただいて、日進市としてふさわしい実証実験していただければと思っております。
委員	2点あります。一つは日進市の公共交通を検討する中で、予定されています道の駅を外しては検討できないのではないかと思っております。 議会の点等々で、現状なかなか踏み込めないという点は理解できますが、やっぱり道の駅ができるかできないかによって、地域の人の流れが変わってくると思います。道の駅の話をして全く無視して地域公共交通の在り方を検討してもいいのか疑問に思いますので、市としての態度をある程度明確にしてほしいと思います。 また地域の移動について、先ほどの話にもありましたが、民間の色んなものを活用する。例えばスクールバスや、福祉会館のコミュニティサロンのバスを活用するのもいいかもしれません。あるいは、スーパー銭湯から藤が丘駅あるいは赤池駅に入ってくるバスもあります。人があまり乗ってなくて、もったいないと思っていたので、民間と提携して活用できないか視野を広げて検討していくのも一つの方法ではないかと思っております。
会長	重要なお指摘ですね。スクールバス、コミサロ、銭湯のバスなどの活用は課題に挙がっていないように見受けられます。事務局いかがでしょうか。道の駅についても併せてお答えください。
事務局	課題の日進市の現状には⑤市内には高等学校3校、大学5校が立地し、高等学校の学生数は近年横ばい傾向にある一方、大学の学生数は減少傾向にあります。これら学校の多くは鉄道駅と学校間を連絡するスクールバスが運行されていますが、学生輸送の逆方向（朝学校から鉄道駅方向、夕方鉄道駅から学校方向）は空車で運行されていることから、スクールバス（既存輸送サービス）の有効活用がされていない状況がありますとスクールバスについては触れていますが、それ以外については書ききれません。法的な制限を確認しながら、現状活用できる資源を整理しているところです。書きぶりについては検討してまいります。
会長	集約課題についてですが、たしかにわかりにくいですね。また、重なっている部分があるなど思っています。①と②の違いが明確じゃないと思いますし、③と④もある意味含まれてしまっています。そうすると2つの課題になっていて、果たしてこれだけでいいのだろうかと思えます。

	<p>時代の潮流から言えば、皆さんからも発言ありましたが、グローバル社会での地球温暖化の防止というのは、もう避けては通れない。SDGs だけではないですが、グローバルな視点からの公共交通の位置づけを検討してもいいのかなと思います。</p> <p>2点確認していただきたいのです。日進市は今、ご高齢の方が安心して住めるか。場合によっては、マストだとは思っていませんが、免許返納しても安心して暮らせるか、そんな街になっているかということです。安心して住み続けられるというのは、若い人たちにとっても安心に繋がると思います。列挙した課題を解決した時に、そういった安心して住み続けられる街になるか、また今ご高齢の方が安心して住めるかというのを確認して頂きたいと思っています。</p> <p>もう1点は日進市が将来の発展に繋がるような交通体系になっているのかということです。生活ベースだけではなくて、交通に落とし込んだ時にどういう形になるかを見ていただくといいと思っております。</p> <p>次回はこの課題に対して、具体的にどのような施策を行っていくか、どのような取り組みをしていくかと、具体的な取り組みを検討していくこととなります。皆様にはこの課題に対して、どのようなことが取り組みそうかということ 아이디어として考えて頂きたいなと思っております。交通事業者の方は交通事業者として、行政は行政として、関係団体の方は関係団体として、市民の方は市民として、一利用者として、何ができるのだろうか、その課題の解決のためには何ができるかを是非考えていただきたいと思っております。</p> <p>それから先ほど、市から方針が示されました。幹線を充実させ、都市の骨格を作る。それは日進市の発展には不可欠だと思っております。その幹線の充実には当然、名鉄バスも関係してくると思っております。あるいはスクールバスの話もありました。日進市ではスクールバスがたくさん走っております。そういったものを幹線として位置づけるようなこともあるのかもしれませんが。名鉄バスさんには、名鉄バスとしてどんなことがこの日進市の将来の発展に繋がるのか、発展を支える交通体系、交通網としてどんなことができるのか是非お考えいただければと思います。市としても、幹線あるいは関係機関との調整を是非進めて頂きたいと思っております。</p> <p>その他としまして、何か情報提供等ございましたらお願いしたいと思っております。</p>
事務局	<p>ワークショップについてですが、参加者数があまり伸びておりません。是非参加の呼びかけに協力を頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。</p>
会長	<p>本日は課題の整理や資料のまとめ方等々議論いただきましてありがとうございました。しっかり整理して次回に繋げていきたいと思っております。皆様方のご協力に感謝申し上げます。では進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>どうもありがとうございました。次回第4回の会議につきましては、12月中の開催を、第5回の会議は1月の開催を予定しております。それでは、これで本日の会議を終了します。お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。</p>
	<p>11時30分閉会</p>